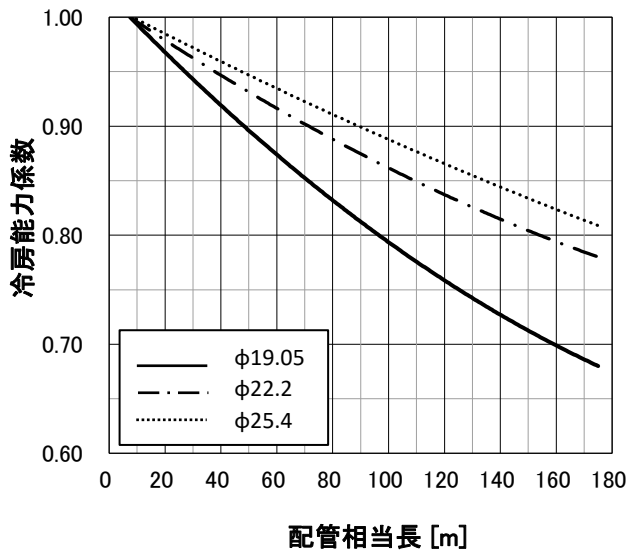
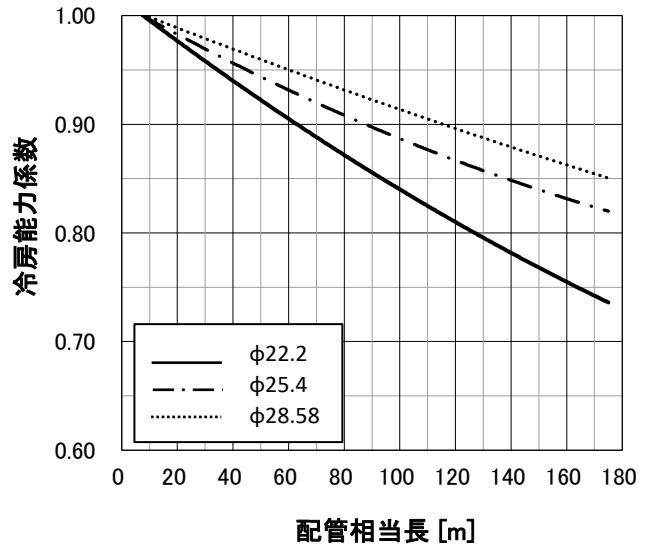


冷房配管長補正線図

● PFHV-RP224(V)DMJ, PFHV-RP450(V)DMJ



● PFHV-RP280(V)DMJ, PFHV-RP560(V)DMJ



[配管相当長の求め方]

PFHV-RP224(V)DMJ, PFHV-RP450(V)DMJ

ガス管径: φ19.05の場合 相当長 = (室内ユニットまでの配管実長) + (0.35 × 配管途中のベンド数) m

ガス管径: φ22.2の場合 相当長 = (室内ユニットまでの配管実長) + (0.42 × 配管途中のベンド数) m

ガス管径: φ25.4の場合 相当長 = (室内ユニットまでの配管実長) + (0.47 × 配管途中のベンド数) m

PFHV-RP280(V)DMJ, PFHV-RP560(V)DMJ

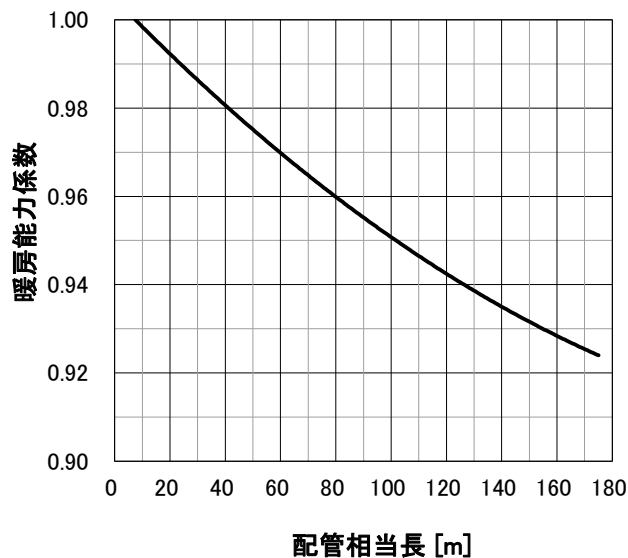
ガス管径: φ22.2の場合 相当長 = (室内ユニットまでの配管実長) + (0.42 × 配管途中のベンド数) m

ガス管径: φ25.4の場合 相当長 = (室内ユニットまでの配管実長) + (0.47 × 配管途中のベンド数) m

ガス管径: φ28.58の場合 相当長 = (室内ユニットまでの配管実長) + (0.50 × 配管途中のベンド数) m

暖房配管長補正線図

● PFHV-RP224(V)DMJ, PFHV-RP280(V)DMJ, PFHV-RP450(V)DMJ, PFHV-RP560(V)DMJ



[配管相当長の求め方]

PFHV-RP224(V)DMJ, PFHV-RP450(V)DMJ

ガス管径: $\phi 19.05$ の場合 相当長 = (室内ユニットまでの配管実長) + (0.35 × 配管途中のベンド数) m

ガス管径: $\phi 22.2$ の場合 相当長 = (室内ユニットまでの配管実長) + (0.42 × 配管途中のベンド数) m

ガス管径: $\phi 25.4$ の場合 相当長 = (室内ユニットまでの配管実長) + (0.47 × 配管途中のベンド数) m

PFHV-RP280(V)DMJ, PFHV-RP560(V)DMJ

ガス管径: $\phi 22.2$ の場合 相当長 = (室内ユニットまでの配管実長) + (0.42 × 配管途中のベンド数) m

ガス管径: $\phi 25.4$ の場合 相当長 = (室内ユニットまでの配管実長) + (0.47 × 配管途中のベンド数) m

ガス管径: $\phi 28.58$ の場合 相当長 = (室内ユニットまでの配管実長) + (0.50 × 配管途中のベンド数) m